で，淋しかつた天文關係の書籍や其の他の出版物が，いつの間にか，汗牛充棟も雷ならざる有樣となり，プラネタリウムまでが二つも建設されて了つた盛況である.（今日，世界廣しと雖も，プラネタリウムを二つ以上持つてゐる國は，ドイツのほかに，イタリヤと，ロシヤと，米國のみであることを思へ!!）こんなにまで來て了つてから，今更，放任されてゐた天文用語を整理するなどといふことは，到底出來ない相談である．此等の事狀が認識されない所に，東京あたりの學究たちが居る．“何故，もつと早く，之れに着手しなかつた?!”こうした責任問題のみが，今は殘るのである，——將來の見えない人々は，時々，こうした“取り返しのつかない”ことをして了う．

讀者よ，マア何も，あはてる必要はない．學術のことは，命令や法令で動くものではない．只，一旦，こんなに亂雜になつて了つた天文用語も，宇宙進化の一部として，漸次に改善されて行くのだ．しかし，十年前に着手しなかつた此の用語整理の失敗は，多分300年も經つうちに整頓されるだらう．

しかし，尙一言，大局を見給へ！他の學術と比べて，天文用語の不統一は決して夥しい數に上るものではない．今日，一定の原語に對して，まち々々の術語が用ゐられてゐるのは約20語ぐらゐに過ぎない．普通の天文用語の95%までは，事實上，統一されてゐるのだから，決して之れは天下の大問題といふほどのものではない．餘りイラ々々せず，又，コセ々々せず，寧ろのんびりとした氣持ちで，こんな問題は，ときどき思ひ出せば宜しい．

一般の學術界を見給へ！Science や Wissenschaft に相當する日本語が，“理學”と“科學”と二つあつて，何れも相讓らず，行はれてゐるではないか?! 之れだつて，“今はもはや遲い!!”のだ．例へば，茲に學術用語委員が出來て，之れを統一しやうとした場合に，

“理學博士”	の代りに	“科學博士”	と改め，
“物理學”	〃	“物科學”	〃
“心理學”	〃	“心科學”	〃
“自然科學”	〃	“天然理學”	〃
“科學博物館”	〃	“理學博物館”	

と改めることに，人々は直ちに同意し得るや，否や?!

くり返して言ふ．“今からでは，もはや遲いのだ”．

所　　感

歐洲戰も　今の我には　小さき事か
百光年の　星仰ぎつゝ

横濱　渡部伊佐武